

【アゼルバイジャン経済トピック 131 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2023 年 4 月 3 日

カスピ海海上及び BTC パイプラインを通じたカザフスタン産石油の輸送

アゼルバイジャン海運公社は、カザフスタン・カシャガン油田で生産された石油が、カザフスタン・アクタウ港からアゼルバイジャン・バクー港へ初めて海上輸送された旨公表しました。

報道によれば、輸送された石油は、6,900 トンで、タンカー「Academician Khoshbakht Yusifzade」(総容量 7,800 トン)により海上輸送された後、BTC パイプラインによって運ばれるとのことです。

SOCAR とカズムナイガスは年間 150 万トンのカザフスタン産石油をアゼルバイジャン経由で輸送することに合意しており、3 月中にもカザフスタン・テンギス油田から約 1 万トン、4 月には 12.5 万トンの石油がカスピ海海上及び BTC パイプラインを通じて輸送される予定です。

BTC パイプラインを通じたカザフスタン産石油輸送は、新たなエネルギー輸送ルートの中継地としてのアゼルバイジャンの地政学的重要性が更に高まる動きとして注目されます。

(以上)